

所 属	県土整備部 道路維持課		
担当(係)名	維持管理担当	内線	3736

<清流の国ぎふづくりの推進>

新 道路、森林が連携した沿道森林環境整備の推進

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
11,000	国庫 6,050	工事請負費 7,000
(前年度 0)	一財 4,950	委託料 4,000
		(沿道間伐工事)

2 背景・現状

本県では冬期の気象条件が非常に厳しい地域が、飛騨地方を中心として広範囲に及んでおり、昼夜を問わず除雪及び凍結防止剤散布に努めているものの、特に沿道に立木が並ぶ山村地域では、日差しが遮られることにより雪が解けず、路面凍結によりスリップ事故を誘発する危険性がある。

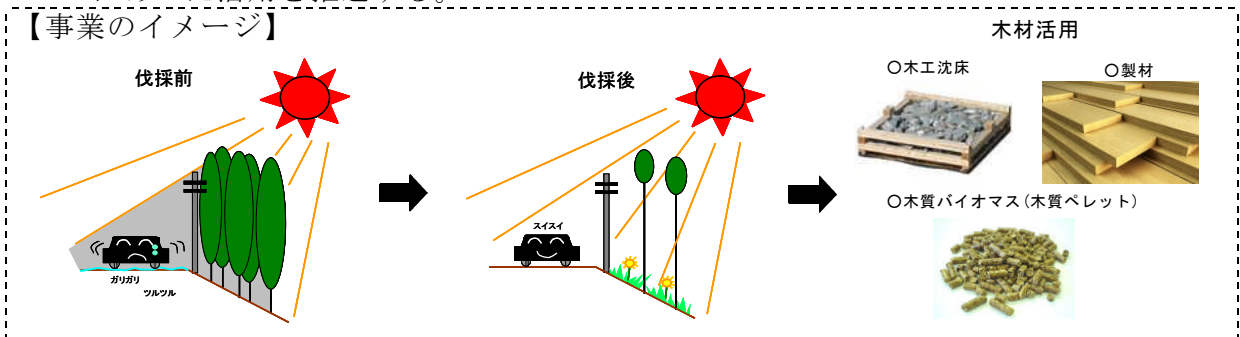
一方、林業、木材産業の不振により、手入れが行き届かない森林が増え、災害防止や水源涵養といった森林の公益的機能の低下が懸念されている。

3 事業目的

道路沿いの立木を伐採し、路面へ届く日光を増大させることで、道路除雪業務の効果を促進させ、凍結によるスリップ事故を防止し、冬期における道路交通の安全性向上を図るとともに健全な森林づくりを推進する。あわせて間伐材の利用を促進することで森林資源の有効利用を図る。また、健全な森林づくり（水源涵養機能の向上）や河川工事への木材利用を進めることにより、「清流の国ぎふ」づくりの推進にも資する。

4 事業概要

路面凍結の恐れがある箇所について、森林所有者、地元市町村、林政部と連携し、関係者の合意を得て立木を伐採するとともに、木質バイオマス（ボイラーやペレットストーブの燃料等）、建設工事の用材（木工沈床、土留壁等）等、地域のニーズにあった活用を推進する。



(款) 8 土木費	(項) 2 道路橋りょう費	(目) (1) 道路総務費
(明細書事業名)	○道路諸費	
	道路諸費	